

CDMを利用したコベネフィット実現促進・支援事業費

807百万円(704百万円)

水・大気環境局 水・大気環境国際協力推進室

1. 事業の概要

アジア各国では経済発展に伴い、大気汚染、水質汚濁等の環境問題も顕在化しつつある。このようなアジア各国の環境問題の解決と温暖化対策を同時に実現するためのコベネフィットCDM事業を推進する。

そのため、コベネフィットを実現するCDMプロジェクトに対して、発生するクレジットの50%以上を政府口座に無償移転することを条件に、初期投資額の1/2を補助する。

2. 事業計画

公募により事業を募集し、実施する。

	H 2 0	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
CDMを利用したコベネフィット実現促進・支援事業	(2 件)				
		(1 件)			

3. 施策の効果

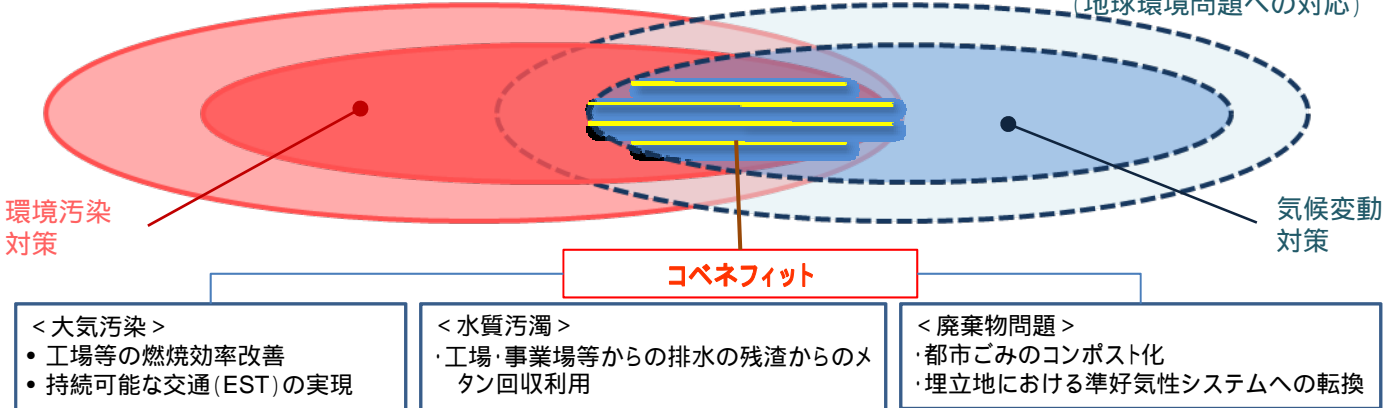
- ・ 排出権の政府移転による日本の温室効果ガス排出削減目標の達成への貢献。
- ・ 我が国の途上国における環境汚染対策への貢献及びコベネフィット型対策を通じた日本の技術の普及。
- ・ 途上国で実施する事業に対して支援を打ち出すことにより、途上国の温暖化対策への理解及び積極的な参加を促進。

CDMを利用したコベネフィット実現促進・支援事業

温室効果ガス削減と環境汚染対策とを同時に達成する取組

国内の緊急課題

国際的な重要課題
(地球環境問題への対応)



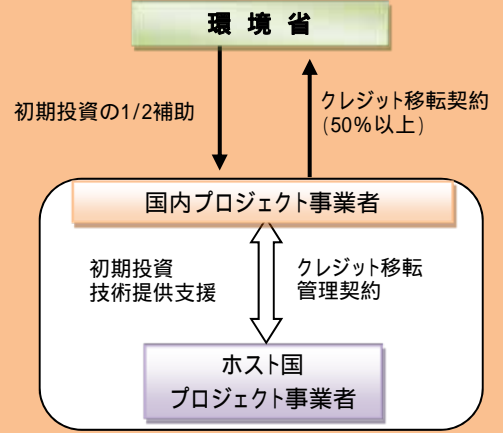
事業内容

発生するクレジットの50%以上を無償移転することを条件に、コベネフィットを実現するCDMプロジェクトの初期投資の1/2を補助。

想定されるコベネフィット対策の対象分野

コベネフィット対象分野	対策活動	環境保全便益	温暖化対策便益
大気汚染	燃焼の改善	大気汚染物質(SOx, NOx, 煤塵)の減少	温室効果ガス排出削減
	燃料転換		
	交通対策		
水質汚濁	ヘドロ等からの温室効果ガス発生防止	水質改善、悪臭防止	
廃棄物	適切なごみ埋立	廃棄物の適正処理	
	バイオマス廃棄物活用	廃棄物量の減量	

事業スキームの例



【マレーシア】 マレーシア国における閉鎖処分場の温室効果ガス排出削減に伴う環境改善事業(実施例)

嫌気性状態である廃棄物処分場を準好気性に改善することで、廃棄物処分場から排出される温室効果ガスを削減するとともに、廃棄物処分場の安定化、浸出水の水質改善及び悪臭防止等の環境汚染対策を図る。

当該技術は日本の代表技術の一つであり、アジア各国で普及が期待されている。



事業対象の廃棄物処分場



現地調査

温暖化対策

温室効果ガスの排出削減

環境汚染対策

廃棄物処理場の安定化・安全閉鎖
浸出水の水質改善
悪臭改善